

平成28年度 第3回美術館セミナー

企画展「南無天!アートと教育の交差点 筑波大学(総合造形展) 読書イベント
第3回 美術館セミナー 図工とメディアをつなぐ特別授業

講師 岩井俊雄氏

●レクチャー 10:30~12:00
会場: 地階講堂
岩井少年が夢中になった工作と科学。その興味(総合造形)との出会いによってメディアアートへと開花したスリリングな仮定をお話いただきます。
※一般の参加者と一緒に参加いただけます。

●ワークショップ 13:30~15:00
会場: 地階講座室
アニメーションの原理に迫るワークショップを行います。

定員: 先着40名(要企画展チケット)
対象: 県内の幼・小・中・高・特別支援学校の教員と絵画教室等の指導者
申込: FAXによる申込み(申込み用紙はHPをご覧ください)
締切: 12月14日(水)

【お問い合わせ・お申込み先】
茨城県近代美術館
〒310-0851 水戸市千波町東久保 666-1
TEL: 029-243-5111 FAX: 029-243-9992
HP: <http://www.modernart.museum.ibk.ed.jp>

【企画展情報】
筑波大学(総合造形展)
平成28年11月3日(水)~平成29年1月29日(日)
一般 500円 筑波大生 700円 小学生 300円
助成: 一般財団法人 絵画創造
公益財団法人 花王芸術・科学財団

- 1 日時
平成28年12月18日(日) 10:30~15:30
- 2 場所
茨城県近代美術館 講堂, 講座室
- 3 参加者
県内の幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校の教員(21名)
- 4 講師
岩井俊雄氏
(メディアアーティスト/絵本作家)
- 5 活動内容
10:00~10:30
受付(講座室前)
10:30~12:00
レクチャー(講堂)
「僕のメディアアートはこうして生まれた」
12:00~13:30
昼食・展覧会自由鑑賞
13:30~15:30
ワークショップ(講座室)
「映像の不思議をつくってみよう」
※鑑賞会を含む。

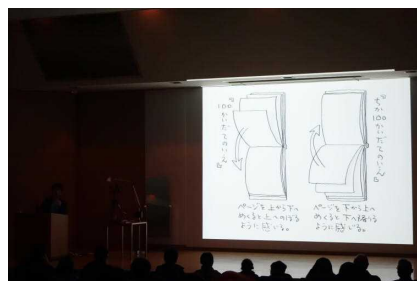
【レクチャー】※一般の参加者も含む。(93名の参加)



【昔の図鑑の挿絵をもとに】



【パラパラ漫画を実況説明】



【絵本『100かいだてのいえ』の解説】

岩井氏の幼少の頃からメディアアーティストへと開花する過程を画像に映し出ししながら、分かりやすく説明いただきました。

子どものころに母親から「もう、おもちゃは買いません!!欲しかったら自分で作りなさい!」と言われものづくりに目覚めたこと、手にした図鑑の挿絵がリアルで本自体の完成度が高く見入ったことなど、岩井氏の興味のありかを知ることができました。

小学生時代の工作ノートには、「こんなものが実際にあったら便利だな。」ということから始まった製品開発のアイデアがいっぱい詰まっており、アイデアのユニークさに参加者から笑いが起きました。岩井氏が実際につくって試した作品には、子どもの文字で「済」と書かれており、実行力の大きさがうかがえ微笑ましかったです。岩井氏がかつて教科書のすみに描いたパラパラ漫画は、ストーリー性の面白さとイラストの完成度の高さに参加者から感嘆の声が上がりました。

岩井氏の発想の素晴らしさ、緻密さ、行動力、物の保存状態の良さに驚かされつつ、高校、大学とメディアアートにのめりこみ、テレビ番組『ウゴウゴルーガ』、三鷹の森ジブリ美術館の映像展示『トトロびよんびよん』、ニンテンドーDSのアートソフト『エレクトロプランクトン』などを手がけたこととお話いただきました。

【ワークショップ及び鑑賞会】



① 五市立鷹野小学の岩井氏が三年で学んだことを鑑賞した。



② アニメの仕組を説明し、おどろきを実際に伝えること。



③ 1グループ4人で描く。パーツを役割分担。1人、眉毛1人、口1人、コマ分け。



④ グループのみんな協力して描いた1コマ。他の班のビデオで映し出しました。



⑤ 分担した絵の続きを描かせる。それぞれの絵は、面白いです。



⑥ 円の両面に顔のイラストを貼りました。



⑦ 円盤を回し、1mmの隙間をあけて動かす。



⑧ どの班も円盤を動かして鑑賞しました。

今回のワークショップは、岩井氏が三年で学んだことを鑑賞した。五市立鷹野小学の岩井氏が三年で学んだことを鑑賞した。ワークショップの目的は、子どもたちに「楽しく学ぶ」という意識を育て、創造力を伸ばすことにある。今回のワークショップでは、グループごとに役割を分担して、アニメの一場面を描き出す。そして、描いたものを組み立て、実際に動かして鑑賞する。この活動を通して、子どもたちは「自分が考えたことを表現できる」という喜びを感じ、また「チームワークの大切さ」も学んでいる。今回のワークショップは、子どもたちの創造力を伸ばすだけでなく、コミュニケーション能力を高める効果も期待されている。